

## 「ちかすいニュース」バックナンバー

2006年

地下水ニュースは2010年1月より「地下水余話」へ生まれ変わりました。

### [トラスト基金で保全地を取得（埼玉県）](#) 情報掲載日 2006/12/23(土)

22日の埼玉県議会で、緑のトラスト保全8号地「高尾宮岡景観地」（北本市）取得議案が可決されたそうです。対象の8号地は湧水（ゆうすい）がある湿地を含む里山地形で、水湿植物「ミクリ」、ヘビの「ヒバカリ」など貴重な動植物が生息する湿地で、開発対象になりやすい市街地付近の立地条件だったことから取得を急いでいたといいます。取得後の保全は、緑のトラスト協会会員などのボランティアなどが行う。県は、県民や企業などからの寄付金を積み立てたトラスト基金で保全地の買い取りを進めていますが、基金は目減りしてきているため、企業からの寄付の増加に期待しているという。[2006/12/22、東京新聞]（し）

### [平成17年度地下水質測定結果](#) 情報掲載日 2006/12/23(土)

環境省の報道発表です。概況調査の結果、全体の環境基準超過率は6.3%（前年度7.8%）で、項目別の環境基準超過率は、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が4.2%（前年度5.5%）で最も高かったとされています。汚染が確認された後の監視等を行う目的で行われている定期モニタリング調査の結果は、1,950本（前年度1,894本）の井戸において環境基準超過が見られたそうで、ここでも項目別の環境基準超過本数は、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が最も多かったそうです。[2006/12/21、環境省]（し）

### [「消火に地下水利用」を立命大で防災シンポ](#) 情報掲載日 2006/12/21(木)

文化都市京都の防災を考える公開シンポジウム「文化遺産の防災－防災まちづくりをめざして」（立命館大歴史都市防災研究センター主催）が19日、京都市北区の立命館大で開かれ、京都の街並みを生かした防災水利システムの提案や、福祉と防災をともに強める地域の取り組みなどが報告された。大窪京大助教授は「近代的な都市防災システムが機能しなくなった際にも機能する防災システム」として、清水寺などを例に、大火の教訓を踏まえた池や公園などの整備などを紹介。京都

の街並みと自然を活用した防災対策として、かつての小河川や堀の再生、地下水などによる消火栓など、ユニークで有効な提案がなされた。一方、春日住民福祉協議会（京都市上京区）の高ライ博章会長は、学区の「福祉防災マップ」や月1回の防災訪問など、配慮が必要な人たちのことを考えた地域の取り組みを報告。「防災力も福祉力も強くなる。ここで長く暮らしていくために続けている」と強調した。【2006/12/20京都新聞電子版】（こ）

---

### 広がる『地下水ビジネス』～宇都宮の例～ 情報掲載日 2006/12/12(火)

病院・ホテル等の大規模施設で敷地内に井戸を掘り、その井戸水を利用する『地下水ビジネス』の活用が最近増加してきている。『地下水ビジネス』とは、大規模施設が水道料金削減のために導入しはじめた事業で、専門業者と契約し、敷地内からくみ上げた地下水を、独自の浄水装置を通して施設内で利用する仕組みだ。地下水は、公営水道と比較して安価である点が大きなメリットの1である。また、災害時の非常用水としても利用可能であるため、こうした動きは今後も拡大していくと思われる。しかし、病院等の大口の顧客を頼りにしてきた市の水道局では、「水道料金の減収とともに、使われなくなった大口顧客用設備の維持費も負担になる。将来的には、一般顧客への料金値上げにつながりかねない」とし、この状況を不安視している。<BR>

【東京新聞 栃木県版 2006/12/7】（小）

---

### 福井県池田町が「ままの水」を商品化 情報掲載日 2006/12/10(日)

福井県池田町と町農林公社などが地下水を「ままの水」として商品化。500ミリリットル入りで126円。「まま」は、薬品を加えないそのままという意味で、足羽川へ流れる湧き水をろ過、加熱殺菌処理して販売する。<BR>

引用：福島新聞社11月29日午前10時30分（しん）

---

### 落合川の旧河川埋め立ての問題 情報掲載日 2006/12/09(土)

東京都東久留米市で始まった落合川整備工事（その17）が、現行計画では旧川を埋め立ててしまうことになっているようです。埋め立て予定地にはいろいろな生物が棲んでいることはもとより多くの湧水ポイントがあり、これらが無くなるのが、心配されています。落合川の小溪谷を保全する会では11月24日に請願署名を東久留米市議会に提出し、12月10日（日）18時から、旧川を埋め立てずに湧水の保全を求める集会を開催するそうです。今年の春に地下水ツアーを行った地区ですので、気になりますね。[2006/12/04 新聞]（し）

---

### 火星表面に新しい水流跡か 情報掲載日 2006/12/09(土)

米国の研究者が、火星のクレータ内で最近出現した溝状の地形「ガリー」に関して、探査機で撮影された画像を解析した結果、溝は長く伸びて枝分かれしており、氷や霜を含む堆積（たいせき）物とみられる明るい色調の物質に覆われていたことがわかったそうです。これは、液体が斜面をゆっくり流れ下った跡とみられることから火星には今も水が存在し、時々地表面を流れている可能性が高いという検討結果を8日付の米科学誌サイエンスに発表したそうです。地下水もあるのかな・・・。[2006/12/07 読売新聞]（し）

---

#### [ベトナムの地下水開発に無償援助](#) 情報掲載日 2006/12/09(土)

日本政府がベトナム社会主義共和国政府に対し「中部高原地域地下水開発計画（詳細設計）」の実施に関して3,500万円の無償資金協力を行うことが、11月9日に決定しているそうです。これはベトナム政府が策定した計画に基づき、2010年までに地方住民の85%が安全かつ衛生な水を1日1人60リットル利用可能になることを目標に掲げている計画の中で水資源が足りない地域（ラオス、カンボジアと国境を接する中部高原地域）をカバーするもので、深井戸を活用した中央給水システムのより広い導入を目指しています。調達された井戸掘削機材を活用して深井戸が建設されれば、4万5千人の住民に対して安全で衛生な飲料水を供給することが可能となり、生活・衛生レベルが向上して水質の低下に起因する皮膚病、下痢、眼病等の罹患率減少が期待できるそうです。

[2006/11/09 外務省]（し）

---

#### [井戸水で乳児ボツリヌス症感染](#) 情報掲載日 2006/12/09(土)

厚生労働省は8日宮城県内の0歳の男児がボツリヌス菌で起きる乳児ボツリヌス症を発症したと発表した。原因は井戸水から菌が検出され、炊事やミルク作成を井戸水で行っていることから自宅の井戸水として、井戸を閉鎖した。乳児は回復に向かっている。同症は土中にもいる菌の孢子が腸内細菌の少ない乳児の腸内で増えて起きるもので、1歳以上では起きない。過去20年で20の感染例があるが、特定できた感染源は総て蜂蜜で、井戸水が感染源とされたのは世界でも例がないと厚生省はいつている。[2006/12/09 朝日新聞]（し）

---

#### [「新座の元気・森透水」販売中](#) 情報掲載日 2006/11/23(木)

新座市（埼玉県）では、飲料水として汲み上げている西堀4号井戸地下250mの水を「新座の元気・森透水」と名づけ販売している。同市では、「雑木林とせせらぎのあるまちづくり」をモットーにしており、ペットボトルの前後には市を象徴する県指定史跡<BR>  
「野火止用水」の清流写真をあしらったラベルが張られている。<BR>

水質は、カルシウム等を含み、富士山の伏流水を含む日本人好みのまろやかな軟水とのこと。<BR>

○販売価格：1本100円、1ケース(24本入り)2000円<BR>

○問合せ：市観光都市づくり推進室(048-477-1111)<BR>

【新座市HP 広報にいざ10月号】(小)

---

#### 地下水の動きも調査へ 情報掲載日 2006/11/16(木)

津市半田の住宅地で起きた陥没問題で、有識者でつくる津市の調査検討委員会は1日、これまでに進めてきた重力、電気探査や7か所のボーリング調査の結果などを公表し、「軟弱な地盤の上に盛土造成したことが陥没の大きな要因」とした。今後は地下水の動きについても詳細に調べる。住宅地での陥没問題は、状況によっては人命に関わる大きな問題であり、今後の地下水調査が重要とされている。地下水は、環境問題だけではなく、短期・長期的に防災面においても重要であり、国民の安心と安全に深く関与していることが再認識された。【2006/11/2読売新聞（中部発）】（こ）

---

#### 中央研究所の湧水を見学しよう 情報掲載日 2006/11/16(木)

東京都国分寺市東恋ヶ窪にある日立製作所の中央研究所の庭園内には数箇所の湧水があります。普段は立ち入りできませんが、11月19日（日）の庭園開放日には見学できます。10:00～14:30まで。武蔵野の雑木林の面影が残るステキな場所です。詳しくは日立製作所のHPを見てください。http://www.hqrd.hitachi.co.jp/crl/（の）

---

#### 古井戸で飼われているオオウナギ「うな太郎」 情報掲載日 2006/10/13(金)

長崎市の樺島では、国指定天然記念物のオオウナギ「うな太郎」が古井戸で飼われている。井戸は室町時代につくられたとされ、深さ約4メートル。近くの小川に遡上（そじょう）した稚魚が地下水脈を伝ってすみつくようになり、1923年（大正12年）にオオウナギの生息地として天然記念物に指定された。うな太郎は指定時から数えて8代目。体長181センチ、胴回り50・2センチ、体重16・6キログラム。[2006/10/13, 読売新聞]（きゅう）

---

#### 羊蹄山の伏流水が人気 情報掲載日 2006/10/01(日)

羊蹄山（1898メートル）の伏流水を市民が取水できるスポットに、後志地方の「名水プラザふきだし公園」（京極町）、「羊蹄山の湧き水」（真狩村）、「ニセコの名水」（ニセコ町）などがあります。ふきだし公園では、湧き出た水が川のように流れて幾筋も勢いよく流れ、流れの脇にはペットボトルなどの容器を手にした人たちが次々と訪れ、京極町によると、公園には年間約80万

人が訪れるそうです。[2006/09/29、asahiマイタウン] (し)

---

### 上総堀の継承考えるサミット 情報掲載日 2006/10/01(日)

上総堀の継承考えるサミットが袖ヶ浦で始まったそうです。割り竹を材料に人力だけで大地を掘り、地下深くから水を得る「上総掘り」。その技術の継承や国際貢献について考える、上総掘りサミットが昨日(30日)千葉県内で始まり初日は袖ヶ浦市の会場で、上総掘り技術継承メンバーらが実際に作業や用具づくりに取り組んだそうです。本日は3コースに分かれ、見学会やシンポジウムなどが行われたそうです。問い合わせは実行委員会0438-20-5555です。

[2006/10/01、朝日新聞] (し)

---

### [サイエンスカフェ「地下水で地震を予知する」](#) 情報掲載日 2006/09/27(水)

カフェでくつろぐ感覚でコーヒーや紅茶を片手に、サイエンスの話題について、研究者との気軽なおしゃべりを楽しむイベント。テーマは、「地下水で地震を予知する」です。 <BR>

日時：2006年10月20日金曜日 18時30分～19時30分、場所：つくば西武ホール（筑波西武6F）。定員約30名。ハガキによる申し込みが必要です。詳しくは産総研HPのイベント・講演会を見てください(の)

---

### 「京の台所」維持へ 情報掲載日 2006/09/26(火)

鮮魚や干物、京野菜、京漬物など、食料品を中心に約130店舗が軒を連ね、「京の台所」とも呼ばれる錦市場。その知名度は全国区で、観光客の姿も多い。16世紀後半に魚介類や鳥の市場として開設されたのが原点とされ、約400年の歴史を誇る。この場所に市場が栄えたのは、人口が密集した都の中心に位置したほか、豊かな地下水が魚や野菜の貯蔵に適していたからだ。現在でも各店には専用配管を通じて地下水が供給され、豆腐の仕込みや鮮魚のいけすなどに活用されているとのこと。ただ、食料品以外の店が増え、「錦らしさ」が失われかねない問題も浮上してきたため、京都錦市場商店街振興組合は、錦市場にふさわしい新規出店者を組合が仲介する「錦にぎわいプロジェクト」を始めている。【読売新聞（関西発）2006/9/21】 (こ)

---

### 昔ながらの井戸掘りに挑戦 情報掲載日 2006/09/26(火)

平野区喜連西二丁目の東住吉総合高(東住吉工業高)が、校内で昔ながらの工法「上総掘り」による井戸の掘削に挑戦している。同校周辺はかつて田んぼで地下水に恵まれていることから「どこを掘っても水が出るはず」と期待を寄せている。掘った井戸からは、太陽光発電で起こした電気を使って水をくみ上げ散水用に使用し、三年がかりで庭園を造る計画。井戸を使った緑化は総合学科

の生徒らをメインに行い、栽培も任せる予定だ。また平均温度一八度の井戸水は打ち水に最適で、校舎の屋上に打ち水をして室内の温度を下げることも検討中。大阪市域では1980年代から市内の地下水の水位が上昇し、地震発生時には液状化の可能性が極めて高いと想定されている。地下水をくみ上げることでその被害を軽減することができるといわれており、米沢教頭は「一種のボランティア」と笑顔を見せる。年内に最低一本の井戸の完成を目指すそうである。【大阪日々新聞2006/9/7】（こ）

---

#### ホテル全館使用の水を地下水に（京都ブライトンホテル） 情報掲載日 2006/09/12(火)

京都市上京区の京都ブライトンホテルは客室やレストランで使用する水全てを地下水に切替えたという。名水の京都をアピールする目的がある。地下水は地下100メートルから汲み上げるが、その工事費は5000万円だったとのこと。今までの水道代を加味してもコストダウンになるという。9月はブライトンホテルをあげて地下水イベントを実施中。47都道府県ミネラルウォーターを日替わりで飲める特別メニューもあるらしい。【京都新聞8/30】（しん）

---

#### 都市の地下水復活に「雨水浸透ます」 情報掲載日 2006/09/07(木)

本来は水害を防ぐために設置する「雨水浸透ます」を各住宅の敷地に埋め込み、都市化で枯れた地下水の再生にもつなげようという活動が始まった。側面に穴が空いたバケツのような「雨水浸透ます」を通じて、地中に水を効率よく浸透させ、浄化された水を流し込むことで、池や川をきれいにしようという試み。東京「井の頭公園」にある井の頭池では、豪雨の直後、池周辺の住宅に設置された約1万基の「雨水浸透ます」により、普段緑色によどんだ水が澄みわたった。雨が降らないと枯れてしまうことがあるという横浜市西部を流れる和泉川では、雨水を地下へ浸透させることで水量を増やそうと、約一年半前から流域に約六百基を置いた。約二十年前から「雨水浸透ます」の設置を進める東京都小金井市では、最近ようやくわき水が復活した。市下水道課の倉さんは、「一度失った自然環境は簡単には取り戻せない。50年、100年かかるからこそできるだけ早く始めるべき」と訴える。

[日本経済新聞2006/9/4]（みか）

---

#### 『浸水想定区域図』公開（三重県） 情報掲載日 2006/09/07(木)

三重県では、大雨で堤防が決壊した際の浸水状況を表示する浸水想定区域図をホームページで公開しました（<http://www.pref.mie.jp/kasen/HP>）。公開したのは、主に県が管理する13水系29河川

の浸水想定区域図。水系ごとに20年～100年に1度の大雨を想定し、浸水想定水深を5段階の色分けで表示しています。県ではこれまでも浸水想定区域図を関係する市町村に提供してきました。これをもとに市町村では避難所の位置等、災害に役立つ情報を書き加えたハザードマップを作成・配布してきました。いざという時の災害で慌てないためにも、自分達の身近に流れる川のことを見つめ直してみるいい機会なのではないでしょうか？【中日新聞 三重県版 2006/9/2】 (小)

---

#### **都市の地下水復活作戦** 情報掲載日 2006/09/07(木)

本来は水害を防ぐために設置する「雨水浸透ます」を各住宅の敷地に埋め込み、都市化で枯れた地下水の再生にもつなげようという活動が始まった。浄化された水を流し込むことで、池や川をきれいにしようという試み。東京多摩地区や横浜で地域が共同で取り組みつつあり、専門家は「成果が出れば、水質汚染に苦しむ全国各地のモデルケースになる」と期待する。【日本経済新聞朝刊 2006/9/4】 地下水学会の元会長である立正大学の高村学長も関わった、井の頭公園のきれいな池を取り戻す活動も紹介されています。(ま)

---

#### **地下水から水銀？検出 城陽の山砂利採取地** 情報掲載日 2006/09/06(水)

城陽山砂利採取地整備公社の定期検査で、京都府城陽市東部にある山砂利採取地の地下水から、水銀とみられる有害物質が環境基準値を超えて検出されていることが5日分かった。自然物の可能性もあり、再検査するなどして慎重に調べている。有害物質は採取地内で車両洗浄などに使われている採取業者の井戸で、飲用ではない。公社が調査しており、市は「(調査結果が)判明次第、議会に速やかに報告する」としている。【京都新聞[電子版] 2006/09/5】 (こ)

---

#### **名水「吉祥水」飲用には「不適」** 情報掲載日 2006/08/30(水)

紀三井寺がある和歌山市名草地区で今夏、イノシシが頻繁に出没して農作物や水源を荒らし、住民を悩ませている。同地区には環境省の「名水百選」に選ばれた「紀三井寺の三井水(さんせいすい)」の一つ、「吉祥水」のわき水があるが、市の水質調査で「飲用には不適」となってしまった。住民らは「イノシシが山を荒らしてフンをするせいだ」と困惑している。名草地区は銃猟禁止のため、市農林水産課が猟友会に依頼して年に4回、箱ワナを設置している。だが、「イノシシは警戒心が強いため、ワナにかかりにくい」と市の担当者は話す。今後は、イノシシが身を隠す茂みの伐採も計画しているという。【MYTOWN和歌山asahi.com 2006/08/25】 (こ)

---

#### **「鑪水」の企画記事** 情報掲載日 2006/08/20(日)

マイタウン熊本に「鑪水」の企画記事がありました。ご興味ある方は見てください。[2006/08/05]

(し)

---

**日本水環境学会シンポジウム** 情報掲載日 2006/08/13(日)

第9回日本水環境学会シンポジウムが、9月5日(火)～6日(水)に、日本大学理工学部駿河台校舎であります。一般的な水環境と水循環の話のほかに、特別企画として、「記憶と水の風景」、「里山の物質循環と水環境」といった話もあるようです。詳細はHPで。[2006/08/13] (し)

---

**名水サミット『てんかわ』開催！！** 情報掲載日 2006/08/10(木)

奈良県吉野郡天川(てんかわ)村において、「第20回全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会」及び名水を通じて水環境保全の推進と水質保全意識の高揚を図ることを目的とした全国名水シンポジウム(名水サミット『てんかわ』)が9月8日(金)に開催されます。奈良県天川村には、日本名水百選の1つ「洞川(どろがわ)湧水群」が存在し、清冽で大量の水が湧き出ています。当湧水は、古来から「神の水」として崇められていて、これにちなんで名水サミットでは「水への感謝—日本人の自然観の原点・水と山岳信仰—」をテーマに、講演やパネルディスカッション等が行われます。その他にも天川村紹介コーナーや名水飲み比べコーナー等も開設され、イベントも盛り沢山の予定です。名水サミットや洞川湧水群についてもっと知りたい方は、環境省HPをのぞいてみてください。【環境省HP 2006年8月10日】 (小)

---

**つくば市内の湧水を紹介 “つくば湧水探検マップ”** 情報掲載日 2006/08/05(土)

つくば市では日常生活に欠かせない水にもっと目を向けてもらい、さらに湧水の大切さや豊かな水環境を持つふるさとを再発見してもらう目的で、平成13年度より市内の湧水を調査する「湧水探検隊」を毎年実施し、“つくば湧水探検マップ”を発行(2004年1月)しています。つくばエクスプレスTX開業で筑波山への登山者も多くなっているようで、“つくば湧水探検マップ”から「[筑波山周辺の名水を訪ねる道](#)」を紹介します。(きゅう)

---

**地下水を活用したビニールハウス栽培試験** 情報掲載日 2006/08/05(土)

北海道滝川市では地下水を使ったビニールハウスの省エネ冷暖房システムの実証試験を行うそうです。商業施設や住宅での例はよくありますが、ビニールハウスでの導入は全国でも珍しいとのこと。ランニング費は灯油使用時の半分以下となるそうですが、初期導入費用は5～6倍もかかり今後の課題。地下約80mの井戸から10℃前後の地下水を汲み上げて利用します。実証実験では無農薬のトマト栽培を行う予定だそうです。【北海道新聞2006/07/27】 (しん)



---

**明後日の「水の日」から「水の週間」が始まります** 情報掲載日 2006/07/30(日)

明後日（8／1）の「水の日」から「水の週間」が始まります。これに合わせて、H18年度版の日本の水資源も公表されています（リンク参照）。以下は、HPより……。水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため、昭和52年5月31日閣議了解により「水の日」を設けました。「水の日」は毎年8月1日とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、ポスターの掲示、講演会の開催等の行事を全国的に実施するものとします。[国土交通省HP、2006/7/30]（し）

---

**秦野盆地湧水群の湧水マップ紹介** 情報掲載日 2006/07/27(木)

「名水百選」の一つである秦野盆地湧水群ですが、平成18年7月1日付広報はだので「涼を求めて湧水巡り」と題して湧水マップが紹介されました。下記HPにてPDF版が閲覧できます。

[http://navi.city.hadano.kanagawa.jp/kouhou/kou\\_hada/03bn.html](http://navi.city.hadano.kanagawa.jp/kouhou/kou_hada/03bn.html)（広報はだの平成18年7月1日号）（みか）

---

**「桐生川の源流水」試験販売開始へ** 情報掲載日 2006/07/27(木)

桐生市水道局（群馬県）は、8月1日から桐生川の源流水を試験販売します。桐生川はもともと渡良瀬川と並んで市の重要な水道水源で、これまでも水源保全の啓発を目的にペットボトル水を製造、市主催の行事の時のみ無料配布していました。今回、試験販売に踏み切ったのは、市民からの熱い要望に答えてのこと。販売は、市施設管理協会が、製造は栃木県足利市の飲料メーカーが担当します。気になる値段は、500ml入りが1本110円、350ml入りが100円と市販のミネラルウォーターよりは安価。当面は、市役所・桐生が岡遊園地・桐生東スポーツセンターの3箇所で販売していくそうです。[東京新聞 2006年7月27日]（小）

---

**地下水復活へミニダム作り** 情報掲載日 2006/07/26(水)

三島では地下水復活に向けて、NPO法人グラウンドワーク三島がミニダム作りに取り組んだそうです。1m四方程度のミニダムは降雨時の地表水を堰き止めて地下へ浸透しやすくする働きがあります。今回のイベントでは親子連れなど約40人が参加し、間伐材を切り出して、約1メートル四方のミニダムを完成させたそうです。（しん）[静岡新聞 地域ニュース東部7/24]

---

**おいしい竹炭水に行列「道の駅たちばな」** 情報掲載日 2006/07/25(火)

福岡県立花町の国道3号沿いにある「道の駅たちばな」では、自由にくんで持ち帰ることができる

「竹炭水」が人気。これは深さ約100メートルの地下水を竹炭が入ったタンクにいったん貯蔵し濾過（ろか）した水。竹炭は浄化作用があり、竹炭に含まれるミネラルが溶け出し、うまみを加えてくれるとのこと。そのまま飲んでもいいし、米を炊いてもおいしい。竹炭水を求めて20分待ちの日もあるそうだ。[朝日新聞 マイタウン福岡・北九州2006/07/24]（きゅう）

---

### 「越百（こすも）の水」提供開始—長野県飯島町 情報掲載日 2006/07/19(水)

長野県飯島町振興公社では、同公社が管理している与田切公園キャンプの井戸水を「越百（こすも）の水」として、7月7日から一般に無料提供を始めました。当井戸の地下水は、中央アルプス越百山に通じているといわれていることから、名づけられたといいます。また、百歳を越（超）える「延命水」の意味合いも持たせているそうです。「越百の水」は以前から、キャンプ場利用者からおいしいと評判であり、今回一般提供に先立って昨年（2005年）12月に水質検査を実施したところ、硬度29度の超軟水であることが判明しました。今後、飯島町観光協会では「越百の水」を町の名水として、多くの人々に愛飲されるように駐車スペースの整備を行う等、利用者の便を図っていく予定だそうです。[伊那毎日新聞 2006/7/6]（小）

---

### [打ち水大作戦2006](#) 情報掲載日 2006/07/18(火)

今年も打ち水大作戦が開催されているそうです。都市の気温を2℃下げようという試み。皆さんも参加してみたいはいかがでしょうか？（しん）

---

### ミネラル水税 情報掲載日 2006/07/16(日)

山梨県が導入を目指す「ミネラルウォーター税」について、有識者や業界関係者が話し合う検討会が10日、東京都千代田区の都道府県会館であり、「積極的に評価することは難しく、慎重に対応していくことが望まれる」とする報告書案を了承したという。県は水源を守る森林整備を目的とし、対象をミネラルウォーターの販売を目的に県内で地下水を採取している者（利益を得ている者）とした。しかし、報告書案では、地下水の利用による「特別の受益」について、「一般に公表資料では、ミネラルウォーター製造業という区分がなく、ミネラルウォーター業界と他の業界との受益の違いを客観的に示すことは困難」という見解を示した。また、「課税の公平性」については、「ミネラルウォーター業界だけでなく、県民や他の産業も地下水資源や森林による受益を得ていることは明らか」などとして、ミネラルウォーター業界にのみ課税することは、「課税の公平性に照らして疑問がある」と結論づけたという。この日の会議では、「この結論が他県の地方自治の芽を摘むことのないよう、十分に配慮すべきだ」という意見も出たそうです。ん～、なかなか難し

い問題ですね。[朝日新聞マイタウン山梨 2006/07/11] (シ)

---

**あきた・わき水巡り** 情報掲載日 2006/07/16(日)

「あきた・わき水巡り」という連載が秋田魁新報社のHPの「さきがけ on The Web」で行われています。地元も伝説や逸話をベースに、写真や地図と共に語られて既に本日の時点で28回です。凄いです。[2006/07/16] (シ)

---

**多摩水と人と** 情報掲載日 2006/07/16(日)

「多摩水と人と」という連載が、asahi.comのマイタウン多摩にて行われています。先月からは「100年の眼」、「清流の郷で」、「流れよ再び」、「雨の恵みに」、「野菊よ咲け」等のテーマが載っています。[2006/07/16] (シ)

---

**富士山世界遺産 忍野八海も加えることについて陳情** 情報掲載日 2006/07/16(日)

忍野村忍草の忍野八海を富士山世界文化遺産登録範囲に加えてもらおうと、地域住民や同協会員ら百三十四人が署名した陳情書を村に提出した。陳情書では、富士山登山者が「八海巡り」をして身を清めたなど富士山信仰とは深いつながりがあり、忍野八海の保存や周辺環境保全のため世界文化遺産に登録すべきとうたっているという。県が一月に地元市町村などに示した登録範囲の素案では、忍野八海は、水面と周辺の道が国の天然記念物に指定されているが国立公園には指定されていない、同登録範囲にはなっていなかった。[山梨日日新聞、2006/07/13] (シ)

---

**地下水の変化から地震の前兆を探る** 情報掲載日 2006/07/12(水)

地下水の変化から地震の兆候を探る活動が箱根・仙石原で30年も続いているそうです。活動グループの名称は「なまずの会」。神奈川県温泉地学研究所に事務局を置く活動グループとのこと。箱根・仙石原では箱根町消防本部仙石原分遣所で実施しているそうです。地震活動と地下水との関係は密接であると言われ、過去には大量の地下水湧出や温泉源泉の急激な水位低下などとの関係が同会で観測されています。(しん) 2006年7月7日タウンニュースから

[http://www.townnews.co.jp/020area\\_page/03\\_fri/12\\_hako/2006\\_3/07\\_07/hako\\_top2.html](http://www.townnews.co.jp/020area_page/03_fri/12_hako/2006_3/07_07/hako_top2.html)

---

**佐倉の湧き水30ヶ所を紹介** 情報掲載日 2006/07/12(水)

佐倉市(千葉県)では、「佐倉の湧き水物語～佐倉の湧き水30～」を発行し、市内の代表的な湧き水を紹介しています。同市では、現在約570ヶ所の湧き水が確認されていて、その内の30ヶ所がピックアップされ、カラー写真付きで掲載されています。内容としては、水質(水温等)に関する

ものから動植物に関するものまで多様なものとなっています。また、散策用の地図も付いていて、オススメです。興味のある方は、市役所で購入可能ということなので、いかがでしょうか（300円）。[東京新聞 千葉県版 2006/6/22]（小）

---

**大気、水質、ダイオキシン類、環境ホルモンの測定結果を発表（宮崎県と宮崎市）** 情報掲載日

2006/07/06(木)

宮崎県と宮崎市は、2005年度の大気、水質、ダイオキシン類、環境ホルモン（内分泌かく乱化学物質）の測定結果を発表した。地下水の概況調査では、都城市高崎町縄瀬地区の民家の井戸1本で、硝酸性窒素と亜硝酸性窒素が基準を超えた。また、モニタリング調査（過去に超過していた井戸の継続的な監視）で、基準を超えた井戸は、ヒ素：宮崎市青島地区の3本、テトラクロロエチレンなどの有機塩素化合物：宮崎、延岡、日向市の16本、硝酸性窒素と亜硝酸性窒素：宮崎、都城市の4本—だった。[読売新聞2006年7月6日]（きゅう）

---

**川越の地下水が販売中** 情報掲載日 2006/07/02(日)

小江戸と呼ばれる「川越」の地下水が販売されているそうです。浄水場内の深井戸から汲み上げた地下水で、ミネラルを適度に含んで味わいのある水とのこと。500ml入りペットボトルで100円。詳しいことは小江戸川越観光協会までお問合せください。昭文社HP「マップルネット」(<http://www.mapple.net/news/news.asp?NewsID=39483>)の記事から（しん）

---

**「宮古のわき水の生物」をテーマにセミナー開催される** 情報掲載日 2006/06/27(火)

地域環境センター（主管・県文化環境部環境政策課、管理運営・NPO法人おきなわ環境クラブ）主催の「第三回地域環境セミナー」が二十六日、沖縄県庁で開催され「宮古のわき水の生物」をテーマに藤田喜久さん（琉球大学非常勤講師）が講話した。藤田さんは「宮古のわき水には多様な生物が生息し、希少種も多い。それらをはぐくむ『わき水環境』の保全は重要で、地域主導型の取り組みが必要」と訴えた。セミナーでは、潮の干満でわき水の水位が上下することから、地下水と海水はつながっていることが紹介された。生息生物については、ミヤコサワガニが一生をわき水（淡水）で過ごすことから、かつて宮古島は海に沈んでいたと考えられていた説に対して「沈まなかった場所がある（浮沈説）」とする説も考えられるようになったことが説明された。[宮古毎日新聞2006/2/26]（きゅう）

---

**河口のダイオキシン調査で約40%が環境基準超える** 情報掲載日 2006/06/22(木)

大阪市港湾局は、平成15年～17年にかけて、河口や河口と港湾との重複区域などで行った水底

の底質のダイオキシン汚染調査で、調査地点（526地点）の約40%にあたる201地点で環境基準を超える値が検出されたとする調査結果を発表した。今年度から浚渫（しゅんせつ）などの対策を行う予定とのこと。また、このほか都市環境局の平成17年度モニタリング調査で、鶴見区の徳栄橋付近など4カ所の水質が環境基準値を超えていることも判明。[産経 関西地域版 2006/06/13]（こ）

---

**天然の照葉樹林は針葉樹の人工林よりも保水力が高い** 情報掲載日 2006/06/21(水)

国内最大級の照葉樹林が広がる宮崎県綾町で、住民らのグループが天然の照葉樹林と人工の針葉樹林の沢のわき水を調査、断面積と流速から流出量を割り出した。少雨期の1月19日は照葉樹林で人工林の約7倍にあたる437立方メートルの流出量があったのに対し、多雨期の5月19日は人工林のほぼ半分の2927立方メートルなどのデータを示し、照葉樹林では秋から冬の少雨期に人工林よりも水がかれにくく、春から夏が多雨期は流出量が人工林よりも大幅に下回っていることがわかった。一般に、大雨の時は人工林の山から流出する多量の水が川の増水を招くが、照葉樹林の山ではその変動幅が少ないとされる。調査結果はこれを数値で裏付けた。[朝日新聞 2006/6/16]（きゅう）

---

**長泉「富士湧水池」の蛍** 情報掲載日 2006/06/18(日)

富士山の雪解け水がわき出る長泉町竹原の「富士湧水池」（通称・窪の湧水）で蛍が舞い、暗やみを彩る黄緑色の光が訪れた人を楽しませている。今年は先月24日に初めて蛍が光っているのが確認できたという。同湧水池は付近の特種製紙の保有地だが、貴重な自然を地域の人たちにも楽しんでもらおうと一般に開放しているとのこと。[静岡新聞 2006/06/18]（し）

---

**柿田川の湧水量、前年比5トン減** 情報掲載日 2006/06/18(日)

柿田川みどりのトラストと柿田川自然保護の会は柿田川の水量調査をし、その結果、推定湧水量は約105トンで、前年同時期より5トン近く減少したという。川の両岸に渡したロープを伝い、カメラで水の深さと流れの速さを測定。断面積から川を流れる水の量を算出し、湧水量を推定した。調査は19年前から年2回続けていて、今回が39回目だといいます。両団体によると「昨年は秋に雨が少なく、伏流水の貯水量が減ったのでは。長期的に見ても、年々貯水量は減少していると思われる」という。[静岡新聞 2006/06/18]（し）

---

**[湧水保全ポータルサイト](#)** 情報掲載日 2006/06/18(日)

本年閣議決定された第3次環境基本計画においては、重点分野政策プログラムである「環境保全上

健全な水循環の確保に向けた取組」の中長期的な目標として「豊かな湧水の維持」が掲げられ、また、「湧水の把握件数」が指標の一つとされています。湧水の保全については、これまでいくつかの地方公共団体で、独自の取組として、湧水の実態調査や優れた湧水の選出等を行っているところがありますが、全国的には湧水の所在情報の把握すら必ずしも十分には行われていません。そのため環境省では、本年1月に全国の都道府県・市区町村の協力を得て、湧水保全状況に係るアンケート調査を実施し、44都道府県・1,044市区町村（3月31日時点）から回答をいただきました。「湧水保全ポータルサイト」（<http://www.env.go.jp/water/yusui/>）は、アンケート調査結果を始めとする湧水の保全に関する情報のポータルサイトとして開設したもので、湧水保全活動の実施状況、湧水保全に関する条例、市区町村別の湧水把握件数、代表的な湧水などを掲載しています。[環境省報道発表資料より 2006/06/15]（し）

---

[平成18年度地下湧水等を利活用するヒートアイランド対策実証事業](#) 情報掲載日 2006/06/18(日)  
環境省の実施する、地下湧水等を利活用するヒートアイランド対策実証事業（クールシティ推進事業）は、地下湧水等あるいは地中熱を利活用するヒートアイランド対策技術の実施による地下水・地盤環境への影響を評価し、環境への悪影響を及ぼさない実施条件を確立することにより、ヒートアイランド対策の推進に資することを目的として、地下湧水等あるいは地中熱を利活用したヒートアイランド対策の効果とその実施による環境への負荷と地下水・地盤環境の状態を把握し、対策の効果・環境負荷・環境影響を評価する実証事業を実施するものです。平成18年度の実施案件として3件の事業を採択しましたことが公表されておりました。[環境省報道発表資料より 2006/06/12]（し）

---

[もうすぐ「水の日」「水の週間」です](#) 情報掲載日 2006/06/04(日)

水の貴重さや水資源開発の重要性に対する国民の関心を高め、理解を深めるため毎年8月1日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として定め、各種の行事を国、地方公共団体及び関係諸団体が連携して実施しています。こちらの記事はタイトルをクリックで。（し）

---

[今は「水道週間」中です](#) 情報掲載日 2006/06/04(日)

平成17年6月1日（水）から6月7日（火）まで第47回「水道週間」です。地下水にすべてがリンクするわけではありませんが、各地でいくつかのイベントがあるようです。水道週間に関する記事はタイトルをクリックで。（し）

---

**住民有志で井戸水くみ口に水を整備** 情報掲載日 2006/06/04(日)

飛騨市古川町畦畑の道の駅「いぶし」の1角にある井戸水「いぶし銀命水」のくみ口に、住民有志が水屋を整備した。いぶしは2002年にオープンし、昔からわき水があった場所の近くで井戸を掘削した。銀命水と名付けた井戸水は、無料で一般客に提供しており、遠方からも多くの人がかみを訪れている。これまで現場には、くみ口となる蛇口があるだけだったため、道の駅の運営に携わる住民が水屋の整備を企画。地元の大工に依頼し、スギ材で幅、奥行きともに約1・2メートル、高さ約2メートルの水屋を建てた。[中日新聞 2006/05/31] (シ)

---

**「名水の町」を2000人参加のマラソン** 情報掲載日 2006/06/04(日)

「名水の町」をアピールする福井県大野市の第42回越前大野名水マラソンが28日、大野市役所を発着点とする日本陸連公認コースで開かれたそうです。ゲストランナーとしてバルセロナ五輪・水泳女子200メートル平泳ぎで金メダルを獲得した岩崎恭子さんも2キロ小学3年親子の部に出場したらしい。給水所やゴールでは、もちろんですが「名水百選」の一つとなっている地元の地下水が振る舞われたそうです。[中日新聞 2006/05/29] (シ)

---

**雨水ますの効果見直し** 情報掲載日 2006/06/04(日)

都市型水害対策と湧水（ゆうすい）保全に効果が期待できるとして、雨水を各家庭の敷地で地中に戻す「雨水浸透ます」の役割が、見直されてきました。例えば、井の頭公園の井の頭池で水量を保っていた大量の湧水は、都市化で雑木林や農地が姿を消してコンクリートに覆われ、地中にしみ込む雨水が激減したことで1960年代以降に枯れ始め、現在は都が八本の井戸から一日約3500 tの水をくみ上げ、池の水量を維持しています。この井の頭公園周辺では、2004年秋の台風で湧水が増え、一時的に池の水が澄んだことがありました。最近都などが「よみがえれ！！井の頭池」と題したシンポジウムを開催したり、地元の三鷹、武蔵野市で一万六千個の雨水ますを増やす目標案が示されたことなどをきっかけに、地元のライオンズクラブを中心に、公園周辺で雨水ますを増やそうという声広がっているそうです。雨水ますの設置には工事費を個人負担する必要があるため、普及率はまだ低いわけですが、最近局地的な豪雨による都市型水害の防止、地中の水が増えれば大気中への蒸発量が増え、ヒートアイランド現象を緩和などで、その効能も見直されつつある。雨水ますの普及率が全国で最も高い約47%に達する小金井市では、新築時にますを設置するよう、指定工事店と連携して市民に指導している。この他周辺でも自治体や市民の間で設置を進める動きが進んできているそうです。[東京新聞 TOKYO発 2006/05/16] (シ)

---

**秋吉台の地下水系保全にNPO法人 情報掲載日 2006/06/04(日)**

山口県秋芳町内の宿泊施設や土産物業者らが、自然保護と観光事業の両立するまちづくりを目指し、特定非営利活動法人（NPO法人）を設立し、ラムサール条約に昨年十一月に登録された秋吉台地下水系の保全に力を入れながら、観光の振興を図る。既存の建築物の建て替えなどに合わせ、秋吉台国定公園内の人工物を可能な限り減らし、地下水系の環境を保全すし、宿泊、商業施設の集積を図り、鍾乳洞などカルスト台地独自の自然環境を紹介する施設、地下水に触れられる親水公園などをつくり、観光地としての魅力を高めるよう行政などに要望するという。[中国新聞 2006/05/16]（し）

---

**台風被害で枯れたわき水が復活 情報掲載日 2006/05/14(日)**

一昨年の台風23号の影響でわき出しが止まり、新たに掘削して再開したものの短期間で枯れていた、京都府宮津市大垣の真名井神社のわき水「天の真名井の水」がこのほど復活、美しい水をあふれ出させている。真名井の水は、近くの元伊勢籠（この）神社の奥宮にあたる真名井神社境内にわき出る水。真名井神社は「水気根源の神」と伝わる豊受大神（とようけおおかみ）が祀（まつ）られている。同神社一帯は真名井原と呼ばれ、三女神や五男神と呼ばれる複数の神が生まれた聖地として古事記や日本書紀にも登場する。台風では、強風などでわき水の水源設備が大破した。わき出しが止まったため、境内の2カ所を掘削。昨年春、うち1カ所から水がわき出たが、すぐに枯れてしまった。昨年11月から、再度別の場所を掘り始め、今年3月までに百数十メートル掘ったところ、毎分約18リットルのきれいな水がわき出た。さらに、以前は日によってわき出る量に差があったが、今回は、以降も一定しているという。[京都新聞 2006/05/02]（し）

---

**おいしい水を水質調査 情報掲載日 2006/05/14(日)**

群馬県衛生環境研究所・水環境研究センターは、「おいしい水」として知られる三平峠（片品村）、妙義山（富岡市）、一ノ倉沢（みなかみ町）など県内八カ所の湧水（ゆうすい）の水質調査結果を発表した。いずれも国の基準をほぼ満たしており、衛生面でも問題がなく、「おいしい水」の条件となる硬度や臭気度、水温、残留塩素など七項目の数値も良好であった。調査結果について、同センターは「飲むことよりも、きれいな水を生む環境を守る意識を県民に持ってもらえれば」と話しているという。[東京新聞 2006/05/08]（し）

---

**熊本市が日本一の地下水都市をPR 情報掲載日 2006/05/14(日)**

日本一の地下水都市をPRしようと、熊本市は8日、天然地下水をペットボトルに入れた「熊本水



物語」(500ミリリットル、100円)を発表し、市役所で販売するほか、同市公式飲料として会議などで使用する。熊本市は人口約67万人の上水道をすべて地下水で賄う世界でも希少な都市とされる。阿蘇山という大自然のろ過器を通った水の年間の使用量は約1億1000万トン。

[2006/05/09 西日本新聞] (し)

---

#### 滋賀県野洲市の農薬工場の跡地で地下水汚染 情報掲載日 2006/05/01(月)

野洲市にある農薬工場跡地の地下水から、エンドリンが基準値を超えて検出されたことが明らかになった。残留性の強いエンドリンが基準値を超えて検出されたのは、製薬会社の農薬製造工場の跡地で、会社の発表によると、今年3月～4月にかけて工場敷地内の地下水を調査したところ、21箇所の観測井戸のうち3箇所から、最高で基準値の約4倍のエンドリンが検出されたということです。この工場跡地では昭和31年～昭和46年にかけて、エンドリンを原料にした殺虫剤がつくられており、会社では当時の製造工程で敷地から地下水や土壌に漏れたのではないかと説明しています。なお会社側は工場敷地内の汚染された土壌を今後2年程度かけて洗浄して埋め戻すことにしています。(2006年4月28日、びわ湖放送ホームページ) (て)

---

#### 「新座の地下水」名称募集－新座市は将来は商品化も視野－ 情報掲載日 2006/05/01(月)

新座市は、市内の地下水を詰めたペットボトルを観光PRや防災備蓄用として、2006年度から製品化するにあたり、名称を募集する。この地下水は、富士山の雪解けにより生じた伏流水で、地下200～300mの水脈から汲み上げるもの。同市は、2006年度予算の水道事業会計で、この地下水を詰めたペットボトルを1万9,200本分の製造委託費として171万円を計上した。水の名称募集のメ切は5月31日。6月中に開かれる市の選考会議で決定される模様。[読売新聞(埼玉地域)2006/04/26] (こ)

---

#### 三原の薬剤流出事故で取水制限を解除 情報掲載日 2006/04/29(土)

山陽自動車道で追突されたタンクローリーから善入寺川などに積荷の「塩化第二鉄」が流出した事故で、三原市は28日、現場付近から下流約7キロまでの間の3カ所で重金属などの含有量を検査し、いずれも基準値以下だったため川からの農業用水の取水、周辺11箇所の井戸についても取水制限を解除した。[マイタウン広島2004/04/29] (し)

---

#### 三条の工場から基準超える鉛 情報掲載日 2006/04/29(土)

新潟県は24日、三条市猪子場新田の機械製造工場の土壌から鉛が土壌汚染対策法の溶出量基準(1リットル当たり0.01ミリグラム)を超え、1リットル当たり0.042ミリグラム検出されたと発表

した。県は周辺の地下水を調査している。[新潟日報 2004/04/25] (シ)

---

#### 温泉病院側が市に謝罪要求 情報掲載日 2006/04/29(土)

宮古島の飲料用地下水を取水する水源で塩素イオン濃度が上昇している問題で、宮古島リハビリ温泉病院は19日、「病院からの排水が上昇の原因と断定して報道機関に広く公表したため信用を侵害された」として、宮古島市に対し、病院への謝罪や原因特定の科学的調査を実施するよう求める要望書を提出した。同問題は2000年10月、当時の宮古島上水道企業団(現宮古島市水道局)が水源流域内の井戸で高濃度の塩素イオンを測定。井戸の近くに位置する同病院に対し、当時の市町村長らが流域外に排水するよう要請。病院は行政指導と受け止め05年4月から流域外排水を実施していたもの。[沖縄タイムス2006/04/20] (シ)

---

#### きれいな水を残そう「地下水シンポ」 情報掲載日 2006/04/29(土)

滋賀県東近江市、彦根市などで水環境を守る活動をしている市民団体「人と自然を考える会」と「宇曾川水系を見守る会」によって23日に「地下水シンポジウム 未来につなぐ水」を開催されたようです。汚れのないきれいな水を未来に引き継ぐために、私たちは今何をしなければならないかを一緒に考えよう―と企画。「飲み水の源泉、愛知川の地下水を考えてみませんか？」をテーマに、三氏が講演。「見えない水を見てみよう」がテーマのパネルディスカッション、利き水体験や井戸にまつわる道具展示も行われたらしい。[中日新聞滋賀2006/04/19] (シ)

---

#### 地下水汚染 住民に説明なし 情報掲載日 2006/04/29(土)

川崎市中原区の通信大手の富士通川崎工場の土壌汚染問題で、地下水汚染に関して周辺住民に十分に説明されていなかったことが分かったという。地下水汚染については国が2000年、住民の健康確保のため、事業者に適切な対応を取らせるよう川崎市に通達していた。市は「当時は適切に対応したと考えているが、市民に広く周知する方法を検討する」と説明しているという。[東京新聞2006/04/19] (シ)

---

#### 宮古農林教諭に優秀賞 地下水・環境保全の論文で 情報掲載日 2006/04/29(土)

第十一回日教弘教育賞(主催・日本教育公務員弘済会)で、このほど宮古農林高校の前里和洋教諭の論文が個人部門優秀賞に輝いた。宮古島の地下水や環境保全をテーマに、環境教育の実践をまとめたもの。前里教諭は、宮古島の基幹産業である農業に使用される化学肥料が島の生活用水のすべてを賄う地下水を汚染している現状を重く受け止めた。化学肥料に代わる有機肥料を開発、実用化するため、農業を志す同校の生徒らで組織する「環境班」とともに研究を重ねてきた。「受賞は励み

になる。研究を農業の活性化につなげることができるよう努力したい」と決意を新たにしているという。[沖縄タイムス2006/04/04] (し)

---

#### 地下考慮の開発必要 普天間跡地環境調査委 情報掲載日 2006/04/29(土)

沖縄県宜野湾市の米軍普天間飛行場の跡地利用に向け、基地を含めた市全域の自然環境や基盤構造を調べる宜野湾市自然環境調査委員会は15日、4年間の調査結果を踏まえた報告書案をまとめた。同飛行場地下にある鍾乳洞や地下水脈などを重視し、開発に当たっては「地下の土地条件と賢く付き合う」必要性を提言した。報告書案では地下水脈や鍾乳洞を配慮しないで開発した場合、大山ターム畑の荒廃や地盤沈下につながる危険性があることを図で説明。同委は今後も具体的な跡地利用計画に向けた開発条件を提示できるよう、自然環境調査を続けていく方針という。[沖縄タイムス2006/03/16] (し)

---

#### 佐渡市の地下水から汚染物質 情報掲載日 2006/04/16(日)

佐渡市真野大川の一般廃棄物最終処分場「真野クリーンパーク」の地下水観測井戸から、環境基準の1リットル当たり1ピコグラムを上回る、4・4ピコグラムのダイオキシン類が検出され住民への説明が行われた。同処分場周辺には簡易水道の取水井戸が2カ所あるため、市は同日取水を中止し、利用する116世帯には給水車で給水を開始した。汚染の原因は分かっておらず、市では「調査時に井戸水が少なく濁っており、土壌中の成分が混じった可能性もある」としている。[新潟日報 2006/04/15] (し)

---

#### 渡良瀬遊水地クリーン作戦 情報掲載日 2006/04/16(日)

利根川上流河川利用者協議会（事務局＝電0480（52）3952）は十五日、渡良瀬遊水地と周辺のごみ清掃を行う本年度のクリーン作戦を実施する。広く一般の参加を求めている、清掃に必要なごみ袋、軍手は主催者側が用意するそうです。昨年度の同作戦には三千九百六人が参加した。地下水とは間接的にリンクするわけですが、人数がすごいです。[東京新聞 2006/04/09] (し)

---

#### 秦野の荒井湧水が水源となっているせせらぎ水路が白濁 情報掲載日 2006/04/16(日)

数多くの湧水群がある名水の里・秦野市の小田急線秦野駅南口近くにある市民らの安らぎの場「南口せせらぎ水路」の水が一時、真っ白く濁って市民を心配させている。水源の荒井湧水は環境省の「名水百選」に選定されている湧水群の一つ。水が濁ったのは3/25で連絡を受けた市環境保全課が現場を見た際は通常のきれいな水に戻っていたという。念のため採水して水質検査を行った結果は

異常なしだった。せせらぎに流れ込む水は、数百メートル離れた荒井湧水から用水路を通って住宅街を流れているが汚染原因は分かっていない。[東京新聞 2006/04/07] (し)

---

#### 違法排水問題でJFEに意見 情報掲載日 2006/04/16(日)

JFEスチール東日本製鉄所千葉地区（中央区）の違法排水、測定データ改ざん事件で、市シアン対策専門委員会は三十一日、市民説明会の開催やモニタリング継続などを求める八項目の付帯意見を同社に通知した。通知内容は地下水・土壌の汚染が見つかった固化・原料ヤードの調査と浄化対策、漏えい防止のためのモニタリング継続、五年後のシステム見直し、徹底した社員教育と各種マニュアル整備、市民説明会の実施など八項目。今後地下水・土壌の汚染状況調査は、審議を終えた同委に代わり、市が今年度設置する（仮称）環境問題対策専門委員会で審議されるという。[千葉日報 2006/04/01] (し)

---

#### 節水効果の現れか、熊本市の地下水採取量が最小を記録 情報掲載日 2006/04/13(木)

2004年度の熊本市の地下水採取量が、約1億1300万立方メートルとなり、市が統計を取り始めた1978年度以降、最少となった。最高値を記録した84年度の約73%で、市水保全課は「市民や企業などが、地下水保全に取り組んだ成果が表れてきている」と話している。同課がまとめた報告書によると、用途別では家庭用水が51.4%で最も多く、次いで企業や商店などの都市活動用水が21.7%、さらに農業用水9.7%、工業用水8.3%。家庭用水は前年度比約26万立方メートル減で、微減傾向。市は各家庭に節水器具が普及するとともに、市民に節水を呼びかけるなどした効果が、徐々に表れてきたとみている。[2006年4月13日 読売新聞] (きゅう)

#### “北九州市ブランド”の天然水が誕生 情報掲載日 2006/03/29(水)

タケノコの里として知られる小倉南区合馬で取水した“北九州市ブランド”の天然水が誕生。その名は「合馬の天然水」。天然水は、収穫体験や郷土料理を楽しめる「合馬観光たけのこ園」の敷地内で約200メートルの井戸を掘って取水。「合馬の天然水」は、弱アルカリ性の軟水で、「口当たりがよく飲みやすい」のが特徴。12リットルのボトル（1本1260円）で販売しているとのこと。[西日本新聞2006/3/29] (きゅう)

---

#### 産業廃棄物の撤去必要なし 地下水調査は継続 情報掲載日 2006/03/28(火)

四日市市内山町と、同市大矢知町・平津町の産業廃棄物問題への対応を検討する「安全性確認調査専門会議」が二十六日、四日市市安島一丁目の三重北勢地域地場産業振興センターであり、大矢知・平津事案については、「地下水の流れを把握する必要がある」として、モニタリングを継続さ

せる意見で一致。十分な地下水流動把握の必要性を強調。一方、水質調査の結果などから「直ちに、生活環境保全上の支障が出る可能性は少ない」との見解。「今のところ産廃を撤去する必要はないのではないか」との意見を示した。〔伊勢新聞 2006/3/27〕（こ）

---

**井の頭池 再び清水に** 情報掲載日 2006/03/23(木)

神田川の源流である井の頭池は、かつては湧き水による豊富な水量を誇ったが、今ではポンプで水をくみあげることによって池の姿を保っているのが現状。地域が連携して地下水の復活に取り組み、池をよみがえらせようと、都西部公園緑地事務所などが4月8日、「よみがえれ！！井の頭池！」と題したシンポジウムを開く。<BR>

[朝日新聞 3月22日]（ま）

---

**[さいたま市水道局、地下水「さいたまの水」を市販](#)** 情報掲載日 2006/03/23(木)

さいたま市水道局は2006年度から、同市浦和区の地下水をペットボトルに詰めた「さいたまの水」（500ミリリットル）の市販を始める。昨年、災害時の備蓄用などに配布して好評だったため、一般消費者向けにも販売する。「さいたまの水」は浦和浄水場第3号井戸の深さ260メートルの場所から取水しており、「ミネラル成分のバランスがよく、おいしい」（水道総務課）という。

[日経地域経済 3月21日]（ま）

---

**日立中央研究所内の湧水が見学できます** 情報掲載日 2006/03/23(木)

昨年実施した「武蔵野台地の湧水めぐり」では残念ながら研究所内は見学できませんでした。野川の源流をぜひ見てみたい方は、庭園開放日に研究所を訪問しましょう。年二回開放しています。<BR>

春の開放日は4月9日（日）、入場時間10:00-14:30です。お問い合わせは [\(株\)日立製作所中央研究所](#)、総務部総務ユニット、042-323-1111（内線：2427）（の）<BR>

---

**井戸の水質検査、14本に拡大 城陽市・新年度から** 情報掲載日 2006/03/15(水)

京都府城陽市は2006年度から、地下水の水質検査を行う井戸の数を現行の6本から14本に増やし、全市域をカバーする。山砂利採取地への「再生土」搬入が判明したのを機に、市民が地下水の安全に不安を抱いているため。06年度から井戸を8本追加し、これまで検査していなかった平川、枇杷庄などの地域を加えた全市域で実施する。市環境企画課は「関西大と連携して地下水脈の実態解明も進める予定で、その結果も検査する井戸の選定に生かしていきたい」としている。[京都新聞 2006/3/14]（こ）

---

**「森林復元などで揚水量が急増」京で文化講座** 情報掲載日 2006/03/15(水)

地球環境問題をテーマにした「洛陽文化講座」（京都洛陽ライオンズクラブ主催）が11日、京都市中京区の京都商工会議所であった。「環境問題としての水危機」と題して、総合地球環境学研究所（京都市北区）の中尾正義教授が講演。同研究所が中国内モンゴル自治区の内陸河川・黒河で行った調査の内容を分かりやすく伝えた。中尾教授は、流域の水利用量が急激に増えた結果、黒河の末端にあった湖が消滅したり河畔の植生衰退が進んでいる状況を説明。森林や湖の復元を目指す取り組みのために地下水の揚水量が急増したことなどの課題を話した。[京都新聞 2006/03/14]

(こ)

---

**土星の衛星で地下水が噴出？** 情報掲載日 2006/03/14(火)

土星の衛星エンセラダスの地下に水が存在し、間欠泉のように地上に噴出している可能性がある  
と、米航空宇宙局（NASA）などが9日発表しました。エンセラダスの表面は氷点下約200度  
ですが、衛星内部の放射性物質の崩壊や潮汐（ちょうせき）力で発生する熱により、液状の水が地  
下数十メートル付近にたまり、表面の氷が破れると地表に噴出するという仮説を立てているそう  
です。<BR>

10日付の米科学誌「サイエンス」に発表されています。興味のある方はご覧下さい。ネットでア  
ブストラクトは読めますよ。（毎日新聞 3月10日）（の）

---

**「環境保全、市民と協働」静岡市清流条例の理念表明** 情報掲載日 2006/03/12(日)

静岡市議会2月定例会は安倍川、藁科川、興津川に代表される清流の環境保全を定めた市清流条例  
の理念について「行政が主導して規制を課すのではなく、市民、事業者、市の協働による環境保全を  
目指す」とし、「規制」から「協働」へと環境保全の政策を転換していく考えを示した。上流域で  
2000平方メートル以上の開発行為をする事業者と清流保全に関する協定を締結し、環境保全活  
動の一翼を担ってもらう。合併浄化槽の設置補助を見直し、河川監視員を各河川に2人配置して休  
祝日に重点地域でアウトドアレジャー客などにごみの持ち帰りなどマナーを指導する。教育の役割  
も重要で、西条光洋教育長は「森林保全まで含めた総合的な環境教育となるよう各学校を指導して  
いく」と述べた。[静岡新聞 2006/03/10]（し）

---

**産廃施設の禁止処分は違法 町が逆転敗訴** 情報掲載日 2006/03/12(日)

紀北町の産業廃棄物中間処理施設建設計画の禁止処分をめぐる差し戻し控訴審が24日名古屋高裁で  
行われ、裁判長は原判決を取り消し、紀北町が同町の浜千鳥リサイクル社に行った建設禁止処分を

違法として取り消し、業者側勝訴を言い渡した。一、二審は旧紀伊長島町が勝訴したが、平成16年12月、最高裁が「町が業者と十分協議し、適切に指導する義務に違反した」として二審判決を破棄、名古屋高裁に審理を差し戻していた。今回の判決文によると、規制対象事業場の認定を答申した旧紀伊長島町水道水源保護審議会の協議内容を検討した結果、「町は業者に対し、禁止処分の理由とした赤羽水源の枯渇の恐れの有無や、地下水使用量の限定が問題視されていることを認識できるような指導をしたとは言えない」とし、「業者側の事情で適切な指導が困難とは言えても、著しく困難だったとまでは認められない」として、配慮義務に違反する町側の違法処分と判断した。

[伊勢新聞 2006/02/25] (シ)

---

### 松本市が工場跡など周辺100カ所の井戸水汚染調査 情報掲載日 2006/03/12(日)

松本市は新年度、重金属や有機溶剤など有害化学物質の使用履歴がある工場の周辺で、井戸水の水質調査をする。すでに稼働していない工場跡地を含む市内五十施設を調査対象とし、各施設の周辺二カ所計百カ所の井戸水を調べる。市内には届出分だけで約六百五十の井戸があり、市は市全体を一区域約六・四平方キロメートルの網目状に区分、井戸がある四十六区域の中から毎年十数区域ずつ選び、各区域一カ所で水質汚濁防止法に基づく二十六項目の水質検査を続けている。これと別に実施する今回の調査では、工場周辺を集中的に調べることで周辺住民の安全と安心を確保したいためであるという。二〇〇四年以降、市内の工場跡地二カ所の土壌や地下水から相次いで有害物質が検出された経緯を重視したもの。[中日新聞 2006/02/23] (シ)

---

### フェロシルトの大半が未撤去で石原産業に計画書再提出要求 情報掲載日 2006/03/12(日)

土壌・地下水汚染問題を引き起こしているといわれる、土壌埋め戻し材「フェロシルト」をめぐる、県が製造元の石原産業（大阪市）に出した撤去命令期限が大半の使用地で守られなかった問題で、県は二日、新しい撤去計画書を再提出するよう指導した。廃棄物処理法に基づく県の撤去命令対象は計九カ所。期限は二月二十八日だったが、撤去が完了したのは三カ所にとどまったためだという。[中日新聞 2006/03/03] (シ)

---

### 5人に1人が水不足 国連が政策の不備を指摘 情報掲載日 2006/03/12(日)

地球上には十分な淡水資源が存在するにもかかわらず、適切な政策が取られていないため、世界人口の5分の1が安全な飲み水を確保できない状況にあるとする世界水開発報告書を、国連がまとめた。報告書によると、11億人の人が十分な飲み水を得られていない。また上下水道などの適切な衛生設備を持たないために感染症の危険にさらされている人が26億人も存在し、もし安全な飲み

水と衛生設備があれば年間160万人が命を落とさずにすんだという。さらに報告書は、水に関連する投資や国際援助が不十分なことに加え、資源管理の人材育成や組織づくりの遅れなどが原因と考えられると指摘。2015年までに安全な飲み水を利用できない人口を半分にすると国連のミレニアム開発目標が、達成できない地域が出る恐れがあるとしている。[共同通信社 2006/03/11]

(シ)

---

#### 土星の衛星にも水 情報掲載日 2006/03/12(日)

土星の衛星の一つ「エンケラドス」の地下の浅い場所に水が存在する可能性のあることが、米欧の無人探査機カッシーニの観測で明らかになったと、米航空宇宙局（NASA）が9日発表した。エンケラドスの南極付近から水蒸気と氷の粒が間欠泉のように勢いよく噴き出し、広範に広がる様子をカッシーニの高解像度カメラが撮影したもので、太陽系内で「地球外生命」を探す新たな候補地として注目されるという。[共同通信社 2006/03/10] (シ)

---

#### 鈴鹿の工場でカドミウムと揮発性有機化合物の汚染 情報掲載日 2006/03/12(日)

食品包装用ラップ「サランラップ」の生産拠点である旭化成ライフ&リビング（東京都千代田区）は6日、鈴鹿工場（鈴鹿市平田中町）敷地内の地下水から、環境基準を超えるカドミウムが98年から現在まで検出されていたと、県に届け出た。また、今年2月には、敷地内の井戸から基準の330倍に上る揮発性有機化合物も検出したという。県は7日、鈴鹿市とともに工場へ立ち入り、井戸や工場周辺の地下水を調べる。[朝日新聞 2006/03/07] (シ)

---

#### 水質や地下水などみんなで研究 情報掲載日 2006/03/12(日)

新河岸川流域の小学生から大学生が、水や環境について意見交換する「川でつながる発表会」が行われ、水質や地下水など、川についてさまざまな視点の研究発表があった。この会は国土交通省荒川下流河川事務所が設置する「新河岸川流域川づくり連絡会」の主催で、今回が二回目。東京理科大、法政大、県立富士見高、県立所沢西高、志木小、川越市立福原小、東京都から東村山市立東村山第三中、明法中・高、清瀬市立清瀬第四小の児童生徒、大学生が参加した。その中で、所沢西高は、所沢市三ヶ島地域の井戸から地下水を調査。地下水の冬の水位は夏に比べて約三メートル前後低いことや、気温が一定の地下を流れるため水温は一年中十五度前後で変化がないことなどを報告し、「今後は地下地質との関係を調べていきたい」と語ったという。[埼玉新聞 2006/03/07]

(シ)

---

#### 地盤沈下注意報・警報の解除 新潟県 情報掲載日 2006/03/12(日)



長岡市は1日、消雪用地下水の節水を求めて長岡地域に発令していた地盤沈下注意報を解除した。同市は、消雪パイプ用地下水のくみ上げで水位が基準を超えて低下したため、地盤沈下の恐れがあるとして1月24日に注意報を出していた。「今後まとまった降雪が見込まれない」（環境政策課）として解除した。また、県は7日、上越市高田地域に発令していた地盤沈下警報を2カ月ぶりに解除し、注意報に切り替えた。警報発令期間は記録を取り始めた1985年以降、最長となった。警報は今冬の豪雪に伴う消雪用の地下水くみ上げの急増から1月6日、5年ぶりに出されていた。[新潟日報 2006/03/01,03/07] (シ)

---

#### 古河の工場周辺でホウ素の汚染 情報掲載日 2006/03/12(日)

古河市北利根の旭ファイバーグラス（本社・東京）茨城工場は8日、同工場の隣接地域にある一部の井戸から最大で環境基準の5・8倍のホウ素を検出したことを明らかにした。昨年8月以降、同工場敷地内の地下水調査を実施したところ、環境基準を超えるホウ素が検出され、工場周辺の井戸計32カ所の水質調査を実施。その結果、同市水海の一般家庭で使っている2カ所の井戸から環境基準を超えるホウ素が検出されたという。現在は飲用中止の願いをし飲用水を提供しているという。同工場ではガラス繊維を製造し、原料にホウ素を使用していた。[朝日新聞 2006/03/06] (シ)

---

#### 奈良最終処分場跡で地下水に水銀 情報掲載日 2006/03/12(日)

奈良市奈良阪町の一般廃棄物最終処分場の地下水から最大で環境基準の4倍の水銀が検出されていたことがわかった。処分場は市が民間から土地を借り受けて72～80年に稼働。電池、プラスチック、生ごみ、廃材などが埋められた。古い処分場で遮水シートなどの対策が施されていない。現在は市営運動場「奈良阪球技場」などとして利用されている。市は「経過観察する」として対策をとっていないが、近くには井戸水を使っている民家があり、県からは詳しい調査を求める声が上がっている。[朝日新聞 2006/03/03] (シ)

---

#### 大口水道料金を地下水対抗で値下げ 前橋市 情報掲載日 2006/03/12(日)

前橋市が五月に予定していた下水道料金の値上げを見送る方針であることが分かった。特に、水道料金は、スーパーや病院など大口利用者間で広まる地下水利用に対抗するため、従量料金を改定して値下げする。水道よりも割安な地下水利用は「地下水ビジネス」として近年、注目度が上昇しており、最新プラントを使った膜ろ過技術で水質も安全とされ、低コストが売りとなっており届け出と保健所の検査を行えば利用規制は少なく利用者が増えている。前橋市では、地下水利用は現在

確認されていないが、水需要の低下は十年以上続いており給水収益も縮小している事から大口利用者の引き留めを狙ったものという。[東京新聞 2006/02/23] (し)

---

#### [水都・大阪 水はええことなかった](#) 情報掲載日 2006/03/12(日)

関西版の朝日新聞夕刊で、毎週火曜日に「米朝口まかせ」と題したコラムがあるらしく、そこでこのような話が載っていました。大阪の水についていろいろな話があります。[2006/02/21] (し)

---

#### [地下水位回復マニュアル取りまとめ](#) 情報掲載日 2006/03/02(木)

富山県では、消雪用地下水の汲み上げにより低下している地下水位を上昇させる方法を検討する会議が2月20日開催されたそうです。対策案として、水を地下に浸透させる事業を行なう場合の具体的な手法などを盛り込んだマニュアルをとりまとめました。去年行った、魚津市の休耕田に水を張り地下に水を浸透させる実験結果を踏まえて、候補地の選びかたや注意点などを盛り込んだ。県では地下水位の回復のため県内の各市町村や自治会などと連携した取り組みを広げていきたいとしています。(しん) [InterNet KNB] KNB NEWS

---

#### [環境省 地下湧水利活用ヒートアイランド対策事業公募](#) 情報掲載日 2006/03/01(水)

環境省は、「地下湧水等を利活用するヒートアイランド対策実証事業」を募集している。この事業は、地下湧水や地中熱を利活用したヒートアイランド対策技術の実施による地下水・地盤環境への影響を評価し、環境へ悪影響を及ぼさない実施条件を確立することを目的としている。公募要領などはホームページに掲載されており、公募期間は平成18年2月21日～3月20日で、平成18年度から5年間の計画で実施するもの。[建設工業新聞 平成18年3月1日](五)

---

#### [手作り井戸に取り組む](#) 情報掲載日 2006/02/21(火)

先週の日経新聞文化欄(2006年2月15日)に塩ビパイプのお手製「井戸掘り器」を使って数mの井戸を掘っている曾我部正美さんが紹介されていました。これまで改良を重ねて井戸掘り器を作ったそうです。ご自分のHPで井戸掘りのことを紹介しています。MLもあり、これまでに数十名以上の方がこの方法で井戸を掘ったそうです。(の)

---

#### [天然冷水「白山命水」がペットボトルに](#) 情報掲載日 2006/02/21(火)

ミネラルが豊富なことで知られる天然冷水「白山命水」が、ペットボトルで発売された。242メートルの地下から汲み上げた地下水を、2リットル入り(350円)と500ミリリットル入り(150円)の2種類で販売する。販売元である倉吉市蔵内の(株)白山(山根専務)によると、「抽出力が強

く、紅茶だと普通の水の1.5倍程度濃くなり、また軟水なので、コーヒーだとまるやかでおいしくなる」とのこと。（2006年2月10日 朝日新聞・マイタウン鳥取）（みか）

---

#### 京奈和自動車道の平城宮跡迂回案 情報掲載日 2006/02/19(日)

京奈和自動車道のうち、ルートが決まっていなかった世界遺産の平城宮跡（奈良市）の周辺を通る大和北道路（約12キロ）について、県や奈良市など地元自治体は地下の遺物などに配慮するため東側に迂回（うかい）させる国土交通省の最終案に合意。奈良市長は「京奈和道は観光振興や渋滞緩和に欠かせず、ルート選定は喜ばしい」と歓迎する談話を出した。一方、市民団体「高速道路から世界遺産平城京を守る会」は「こんな大きなトンネルを掘れば、木簡を外気から守る地下水脈が分断される」と批判している。[朝日新聞 2006/02/17]（し）

---

#### 守谷の工場跡地の地下水から有害物質 情報掲載日 2006/02/19(日)

守谷市百合ヶ丘の明星電気守谷工場（本社・東京）跡地や周辺地下水から、土壌から基準値を超える一キログラム当たり二五〇ミリグラムの鉛を検出。地下水から、最大で基準値の十三倍に当たる一リットル当たり〇・二七ミリグラムの1、1-ジクロロエチレンなどの有機化合物を検出した。同工場から半径五百メートルにある井戸四十四カ所のうち、三カ所から基準値を上回る1、1-ジクロロエチレンを検出。県は昨年十一月中旬、三つの井戸から半径百二十メートルの井戸水使用の四十八世帯に、使用自粛と上水道切り替えを呼び掛けた。[東京新聞 2006/02/17]（し）

---

#### 飯田の名水“猿庫の泉”で初釜 情報掲載日 2006/02/19(日)

国の名水百選に認定されている飯田市上飯田の「猿庫（くら）の泉」からわき出る水を使った初釜茶会が十一日、同市羽場公民館で開かれた。保存会員や来賓のほか、茶道を学ぶ地元の小学生四人も参加、泉からくんだ水でお点前が披露されると、味を確かめるように口に含み「おいしい」と笑顔を見せていたという。[中日新聞 2006/02/12]（し）

---

#### 土壌から基準値超の鉛など検出 情報掲載日 2006/02/19(日)

四日市市は九日、三重富士の旧坂部工場（四日市市東坂部町）土壌から、環境基準を超える有害物質の鉛、フッ素、ヒ素が検出されたと発表した。鉛は九十三倍、フッ素は九・九倍、ヒ素は一・五倍、それぞれ環境基準を超えていた。[伊勢新聞 2006/02/10]（し）

---

#### 中国広東省・水、土壌汚染で過去20年間に300名死亡 情報掲載日 2006/02/17(金)

河北新報（2006.2.14）によると、中国広東省当局者は14日、同省韶関市翁源県の村で、重金属に

よる水質汚染が原因で過去20年間に約300人の住民が死亡したことを明らかにした。環境汚染の深刻化が指摘される中国だが、これだけ多数の犠牲者が確認されるのは珍しい。共同通信の電話取材に答えた。

問題となっているのは人口約3,300人の同県上堰村。中国メディアによると、村の近くにある金属鉱山からの有毒廃水で、土壌からは国家基準の44倍の鉛や12倍のカドミウムが検出され、病人の多さから「がんの村」と呼ばれていた。13日付の英字紙チャイナ・デーリーは「近年、水質汚染で数百人が死亡した」と伝えていた。(て)

昨年発生した中国での一連のニュースを取り纏めてあります。[こちらの](#)ページもご覧ください。

[http://homepage3.nifty.com/jagh\\_torikichi/news/news\\_china-1.htm](http://homepage3.nifty.com/jagh_torikichi/news/news_china-1.htm)

---

#### えびの市営露天風呂 営業休止 情報掲載日 2006/02/12(日)

霧島・韓国岳のふもと、えびの高原にある「えびの市営露天風呂」が、湯温の大幅低下(3年前に52度あった源泉の温度は昨年、24~25度まで下がった)で営業休止に追い込まれた。市営露天風呂は国立公園霧島連山に囲まれたえびの高原の標高約1200メートルにある乳白色の天然かけ流しの温泉で45年ほど前にできたもの。市によると、様々な原因が考えられるが、一つは、地下120メートルの源泉からつながる直径5センチの鉄のパイプが腐り、台風14号で大量に生成した冷たい地下水が入り込んだ可能性だとも推測されているが、正確な原因ははっきりせず、再開のめどは立っていない。[朝日新聞2006/02/10] (し)

---

#### 小浜、井戸水で地域おこし 情報掲載日 2006/02/12(日)

福井県小浜湾に面した小浜市一番町で、絶え間なく噴き出ている井戸水「雲城水」を使った地酒造りの計画が進んでいる。商品名は「百(もも)伝ふ」地元の限られた店だけで4月から販売する。小浜市を流れる南川の河口に位置する同町は昔から地下水に恵まれていた。雲城水は現在の小浜郵便局の横にある。旧雲城高等小の同窓生が49年(昭和24年)に、母校をしのび、同校があった地元で地下30メートル掘って造った井戸水だ。目の前は海だが、塩辛さはなく甘みのある軟水。同組合によると、3月の「お水送り」の神事で知られる遠敷(おにゅう)川の鵜(う)の瀬の地下から、約7キロの距離を100年ほどかけて流れてくるという。[朝日新聞2006/02/08] (し)

---

#### 篠山市水道料金値上げ審議 情報掲載日 2006/02/12(日)

兵庫県篠山市の水道料金の値上げ案が、2月1日の同市議会臨時議会で審議される。平均32・

6%の大幅な引き上げで、原案通り可決されると、使用料金（1カ月20トンの使用量、04年度地方公営企業決算速報値）が県内61団体中、12番目から5番目の高さになる。さらに同市は5年後には24・57%の引き上げを見込んでいるという。同市は篠山川などの中小河川の浄水場や水源地計23カ所で取水をしてきた。しかし、近く地下水が枯渇して必要とする日量1万9千トンの水が確保できなくなるとして、04年から県企業庁から県水1万700トンを購入している。また、現在県が建設を進めている西紀ダム（同市栗柄、建設費54億円）とみくまりダム（同市三熊、同41億円）に対し、それぞれ2・4億円、2・5億円の負担費を支払ったうえ、取水のための市独自の施設にそれぞれ15億円、31億円を投入している。[朝日新聞2006/01/31]（し）

---

#### カリフォルニア州、有害家庭ゴミ処理に新規制 情報掲載日 2006/02/12(日)

2月9日からカリフォルニア州では有害廃棄物に関する新しい規制が実施され、住民はほとんどの家電製品や電池、または水銀を含む製品をゴミとして捨てるが出来なくなる。電子製品がゴミの埋め立て処理場に廃棄される際に、製品に含まれる鉛や水銀、銅その他の金属が流出し、地下水を經由して川や自然を汚染する。それらの有害物質を減らすことがこの新規制の目的である。捨てるのが禁止される製品には、プリンターやVCR、電子レンジ、蛍光灯、ガラスの温度計、古い自動温度調節器なども含まれる。これらの製品は、有害家庭ゴミ収集センターに持っていく必要があり、そこでリサイクルされることになる。ベイエリアのどの郡も少なくとも1箇所そのようなセンターを設置しており、埋め立て処理場の近くにあることが多い。[朝日新聞2006/01/25]（し）

---

#### 神栖に廃棄物600立方メートル 宅地造成中に医療品など発見 情報掲載日 2006/02/12(日)

神栖市波崎にある宅地造成中の私有地に、注射器や注射針、点滴用の薬液袋を含む大量の廃棄物が捨てられていたことが分かった。井戸水を生活用水にしている付近の住民からは不安の声が上がっている。この土地は水戸地裁の競売にかけられていた2003年2月に買い取られた約6000平方メートルの雑木林で、宅地にして販売するため、重機で整地していた昨年10月、地中から大量の廃棄物が出てきたという。県のこれまでの調べでは、注射針や点滴用の薬液袋といった医療廃棄物のほか、木くず、金属くず、タイヤ、廃プラスチックなど、少なくとも約600立方メートルの廃棄物が出土した。少なくとも15年以上前に捨てられたらしいが、排出元の特定につながる手がかりは得られていない。廃棄物処理法では排出元が特定されない場合、土地の管理者の責任が問われるため、県や市は所有者にごみを撤去するよう指導している。読売新聞[2006/02/10]（し）

---

#### 水環境保全で東北表彰 一関の2校 情報掲載日 2006/02/12(日)

岩手県一関市室根町の釘子小（湊恵幸校長、児童46人）と一関工高土木科3年生の川づくり課題研究班（熊谷彩班長、7人）は、快適な水環境の創造や保全へ優れた活動を展開している学校などに贈られる日本水環境学会東北支部（支部長・石橋良信東北学院大工学部教授）の「水環境保全活動奨励賞（水すまし賞）」を受賞した。釘子小は同校に引かれている水道を作った地域の先人の研究などに取り組み、水道水源地の清掃活動なども展開している。また研究班は北上川の川下りなどフィールドワークを生かした河川情報マップの作製などが評価を受けた。岩手日報[2006/02/11]（し）

---

#### 硫酸ピッチ問題で井戸水に不安、瑞浪市が水道水を無償提供 情報掲載日 2006/02/12(日)

岐阜県瑞浪市日吉町の砂防指定地に不法投棄された産業廃棄物の中から、人体に有害な硫酸ピッチが見つかった問題で、付近住民（水道の通っていない家庭が約三十世帯ある）からは、これまで飲み水として使っていた井戸水への不安の声が上がっている。瑞浪市では、水道水を住民に無償で提供するなどの対応を取り、住民の不安解消に努めている。地域の区長さんは「検査の結果が問題なくても、井戸水はあまり飲みたくない。ただ、地域には独り暮らしのお年寄りもあり、ポリタンクで水を運ぶのは大変」と話している。瑞浪・硫酸ピッチ不法投棄事件とは、昨年10月に瑞浪市日吉町の砂防指定地域で発覚した産廃不法投棄問題で、現場検証では硫酸ピッチの入ったドラム缶23本と、汚泥のスラッジ50トンが見つかった。ドラム缶は数十〜100本近くに上る可能性があるという。中日新聞[2006/02/09]（し）

---

#### 保全活動に弾み「疎水百選」の大井手用水 情報掲載日 2006/02/12(日)

農水省の『疎水（そすい）百選』に、鳥取市の「大井手用水」が選ばれた。高齢化などで水路の保存や管理が難しくなる中、四百年の歴史を持つ同用水の保全活動には、地域住民も積極的に参画。百選に選ばれたことで活動に弾みがつくものと期待され、関係者は「古くから生活の中心にあった水路を通じて、農業を足元から見直すいい機会にもなる」と喜んでいる。同用水は、鳥取市河原町から取水し、同市賀露町までの水田約六百六十八ヘクタールを潤す用水路で、大井手川として幹線水路だけで延長約十六キロある。鹿野城主の亀井茲矩（かめい・これのり）公が一六〇二年（慶長七年）から七年もの歳月をかけて開削。それまで、干害と千代川の度重なるはんらんなどで荒れていた土地を穀倉地帯に変えたという。また、ホタルやメダカなどの水生生物も多数生息。地域の自然環境にとっても同用水の役割は大きく、「ホタル鑑賞会」や「大井手川と遊ぼう」などさまざまなイベントを開催するなどして、水路を活用した地域コミュニティづくりに利用されている。疎水百選は、過疎化や高齢化などで、保全が困難になっている水路を守ろうと、農水省が昨年、候

補地区をインターネットで募集。全国二百八十四地区の中から、選定委員会が百十地区を選んだもの。日本海新聞[2006/02/09] (し)

---

### 神栖のヒ素汚染問題『いつ正確な調査するのか』 情報掲載日 2006/02/12(日)

茨城県神栖市の井戸水が有機ヒ素化合物で汚染された問題で、環境省、県、同市は八日、神栖市中央公民館で住民説明会を開き、汚染源とみられるコンクリート塊などについて、六月をめどに同市内の施設で焼却処理する方針を示した。これに対し、住民からは「いつになったら正確な汚染調査をするのか」「コンクリート塊や汚染土壌を運ぶリスクは、どのように防ぐのか」「汚染された水の話が一切出ないのでがっかりしている」など、不安・不満を訴える声が上がった。東京新聞[2006/02/09] (し)

---

### 災害時の水を確保 井戸水無償提供の家庭募る 情報掲載日 2006/02/12(日)

徳島県小松島市は、南海・東南海地震などの災害時に井戸水を無償で提供してくれる家庭を募集し始めた。水道管の破損により水道水の供給が途絶える状況を想定し、井戸水で飲料水や生活用水などを確保するのが狙い。協力してくれる家庭と協定を結び「災害時井戸水提供の家」として登録する。市は備蓄している飲料水の増量に向けて取り組んでいるが、現時点で一人一日の消費量を三リットルとして計算して約千六百人分しかない。こうした状況を受け、災害時に井戸水を飲料用や消火用のほか、洗濯、トイレなどの生活用として利用することにした。市では地下水が豊富で、市内には地下水だけで生活している家庭もあり、市は広く協力を呼び掛けている。徳島新聞[2006/02/08] (し)

---

### 地下のパルテノン神殿、首都圏外郭放水路、春日部市内で公開 情報掲載日 2006/02/12(日)

中川・綾瀬川など埼玉県東部河川の洪水を巨大トンネルに取り込み、江戸川に排水して浸水被害を抜本的に解消する世界最大級の地下放水路「首都圏外郭放水路」が六日、今年六月の完成を前に春日部市で報道陣に公開された。放水路の終点となる調圧水槽（春日部市西金野井）は幅七十八メートル、奥行き百七十七メートル、高さ十八メートルで、東京ドームと同じ広さを持つ巨大な地下異次元空間。五十九本の柱がそびえ立つことから「パルテノン神殿」とも呼ばれている。洪水時にはプール四個分に相当する毎秒二百万トンを経済圏に放水し、洪水を防ぐ。同放水路は一九九三年に着工し総工費約二千四百億円をかけた。埼玉新聞[2006/02/07](し)

---

### 「土釜の岩清水」人気 つるぎ町のわき水 情報掲載日 2006/02/12(日)

徳島県つるぎ町貞光日浦川向のわき水「土釜の岩清水」は非常にきれいでミネラル分を豊富に含む

ことが雑誌などで紹介されて注目を集め、週末には水をくみにきた人が列をつくるほどの人気を集めている。「岩清水」は、つるぎ町貞光と一字を結ぶ国道438号脇の岩の間からわき出している。地元の人によると戦前からあり、これまで枯れることなく街道を行き交う人たちののどを潤してきたという。成分調査の結果、水の汚れを示すCOD（化学的酸素要求量）は0.1ppmとミネラルウォーター並みかそれ以上の美しさだった上、ミネラル量を示す硬度は126.3ppmと、近年調査した県内の清水で最も高いことが分かった。徳島新聞[2006/02/05]（し）

---

#### 水道原水をペットボトルに 榎原市が市政50周年で配布 情報掲載日 2006/02/12(日)

榎原市は市制50周年を記念し、水道水の原水となっている地元の井戸水を利用したペットボトル水「万葉の里かしはらさららの水」を製造した。ことし開かれる50周年記念イベントなどで市民に配布する。市水道局は「普段利用されている水道水に地元の井戸水が使われていることや水源の大切さを知ってもらえれば」とアピールしている。水道原水を使ったペットボトル水の製造は県内自治体で初めて。原材料の水は、市水道局（榎原市小房町）の八木浄水場にある井戸からくみ取られたもので、町村合併で同市が発足する3年前の昭和28年から水道水として使われており、現在も市内水道水の約20%を賄っているという。奈良新聞[2006/01/31](し)

---

#### 氷のカーテン 厳冬で大きく 情報掲載日 2006/02/12(日)

群馬県藤岡市上日野の鮎川右岸のがけに、幅20メートル、高さ5メートルほどの氷の滝が出現した。「上平の氷瀑」で、斜面からしみ出る地下水が厳しい冷え込みで凍り、大きなつららがカーテン状に下がっている。例年は1月中旬から結氷するが、厳冬となった今季は昨年末から凍り始めた。つららの成長も例年以上で、1カ所だけでなく、近くに幅15メートルほどの氷瀑もできた。東京新聞[2006/01/28]（し）

---

#### 土壌からPBC検出 ダム湖、水源地からは出ず 情報掲載日 2006/02/12(日)

尾鷲市南浦の電源開発・尾鷲第一発電所（クチスボダム）敷地内の格納庫から、有機塩素化合物PCB（ポリ塩化ビフェニール）を含む油が漏えいした事故で、電源開発西日本支店は二十六日、にじみ出した外壁直下の土壌から、微量のPCBが検出されたと発表した。ダム湖水や下流の紀北町の銚子川からは検出されなかった。同社が格納庫周辺の土壌やダム湖水、井戸水などを調査した結果、油がにじみ出した外壁直下の土壌から、0.25ミリグラムのPCBが検出された。同じ場所で行った県紀北県民局の土壌検査では、0.065ミリグラムを検出したという。伊勢新聞[2006/01/27]（し）

---



**川越市内の新河岸川流域で希少種発見** 情報掲載日 2006/02/12(日)

川越市の新河岸川流域の小川で、石貝科の「フネドブガイ」が見つかった。淡水の大型の二枚貝で、県内では最近姿を消し、極めて珍しいという。フネドブガイは一九六〇年代以前は、県内各地の河川で見られたが、水質悪化や流路改修の影響で姿を消し、県内では旧大里町（現深谷市）で発見報告例があるだけという。東京新聞[2006/01/24]（し）

---

**人工透析で40人が貧血症状、井戸水消毒の塩素が原因？** 情報掲載日 2006/02/09(木)

千葉県佐倉市の聖隷佐倉市民病院で、人工透析患者40人に、透析液を作る際に使い始めた井戸水の消毒用塩素が原因と見られる貧血症状が生じたというニュースです。私が注目しているのは、この病院では、「水道水より井戸水の方が環境ホルモンの影響を受けにくい」との説に基づき、井戸水を使い始めたことです。消毒用塩素が原因と見られる影響が生じたことは残念なことです。地下水の良好な水質に着目した聖隷佐倉市民病院の取り組みは、高く評価されるべきではないかと思えます【産経新聞社2月9日14：47】（ま）。

---

**雨の微妙な重さの違いで地下の水循環を推測** 情報掲載日 2006/02/07(火)

水の水素と酸素の同位体比分析という方法で、雨の微妙な重さの違いを測れば、地下の水循環が推測できる（神奈川県温泉地学研究所 板寺一洋主任研究員）。「丹沢山地に降る雨と湘南に降る雨は重さが違う。海からの雲は、重い水を先に降らせるから。」丹沢の雨の重さと同じ水が数十km先の平野に湧いていれば、地下深くに悠然たる大循環系があると言う。[朝日新聞日曜版be on Sunday 2006/02/05]（こ）

---

**生ごみの汚水20トン漏れ出す** 情報掲載日 2006/02/06(月)

大館市が設置した市コンポストセンターで4日午後、たい肥製造に用いる生ごみの汚水約20トンが漏れ出していたことが5日分かった。市は漏出による環境への影響はないとしている。屋外の槽は6つあり、うち2つを使用していた。漏出したタンクは雪の重みのため配管と槽の接続部分に亀裂が入っており、ここから漏れ、地下へ浸透したとみられる。市は今後、地下水の水質調査を行う予定だという。[秋田魁新報（2006/02/06）]（し）

---

**ダイオキシンを‘パクッ’ 「スーパー細菌」創成** 情報掲載日 2006/02/06(月)

大きな“口”で物質を丸飲みして“消化”する能力を持った細菌の遺伝子を組み込み、ダイオキシンを短時間で分解できる「スーパー細菌」を作り出すことに、京都大大学院農学研究科の村田幸作

教授（微生物学）の研究グループが成功し、16日、米科学誌「ネイチャーバイオテクノロジー」に発表する。微生物を利用して、ダイオキシンに汚染された土壌や地下水を浄化する「環境浄化」につながり、今後、実用化に向けた研究が期待される。〔大阪新聞2006/0116〕（こ）

---

#### 地下水変動から地震予知の可能性 情報掲載日 2006/02/06(月)

「次の南海・東南海地震にどう備えるか」と題したセミナーでは、産業技術総合研究所（東京）の小泉尚嗣さんが予知の可能性について講演。過去の南海地震で「地殻変動に敏感に反応する地下水の変化が繰り返し見られた」と解説し、来年度から想定震源域に観測所を設けて長期的に監視する計画を明かした。〔神戸新聞2006/01/18〕（こ）

---

#### 六日町で地盤沈下6センチに 情報掲載日 2006/02/05(日)

南魚沼市六日町市街地で、消雪パイプ用の地下水くみ上げによる地盤沈下が3日までに約6センチに達した。同市は六日町市街地を中心に約5000世帯に対して、節水を呼びかける地盤沈下情報のチラシを配布した。〔新潟日報 2006/02/03〕（し）

---

#### 湯沢市皆瀬で「しがっこまつり」 情報掲載日 2006/02/05(日)

湯沢市皆瀬の小安峡で4日、大噴湯の峡谷に垂れ下がった「しがっこ」（つらら）が呼び物の「第20回しがっこまつり」が開かれ、日没に合わせてしがっこが幻想的にライトアップされた。峡谷のすき間から染み出た地下水が凍ってできたしがっこは大きなもので長さ約13メートルもある。峡谷が赤や青、緑のライトで照らされ、大勢の観光客が大噴湯上の川原湯橋から眺めていた。〔秋田魁新報 2006/02/05〕（し）

---

#### 25カ所が「おいしい水」県が認定 情報掲載日 2006/02/05(日)

福井県は、そのまま飲むことができる県内のわき水など25カ所を「ふくいのおいしい水」に認定した。県の認定基準は（1）水道法の基準で飲用に適している（2）残留塩素が検出されないなど、県独自のおいしい水の要件に適合する（3）雨水などが流れ込まず水質維持が見込める（4）市町村や地元地区から認定申請がある—の4点。現在さらに10カ所を調査中で年度内に追加認定する方針という。今回の認定個所は以下。【福井市】禅林寺の甘露泉（徳尾町）▽水分神社湧水（長橋町）▽酒清水（徳尾町）▽弘祥寺跡地の甘露水（金屋町）▽名水足谷の清水（足谷町）▽金光水（荒谷町）【丸岡町】小和清水（上久米田）【越前市】お清水不動尊の水（吾妻町）▽榎清水（横住町）▽瓜割清水（赤谷町）▽石堂の水（西河内町）▽皇子ヶ池の水（粟田部町）▽神清水（山室町）【越前町】▽御膳水（天王）▽大谷の薬水（大谷）▽弘法大師の水（平等）【大野市】

御清水（泉町）▽篠座神社の御霊泉（篠座町）▽本願清水（糸魚町）▽七間清水（元町）▽石灯籠  
会館（本町）【小浜市】雲城水（一番町）▽鶴の瀬井戸（下根来）【若狭町】瓜割の滝（天徳寺）  
【大飯町】滝水ひめ（父子）[中日新聞 2006/02/02]（し）

---

**柏崎地下水汚染で住民に謝罪** 情報掲載日 2006/02/05(日)

柏崎市北斗町の地下水から昨年、工業用洗浄剤に含まれる化学物質「1—ブロモプロパン」などが  
検出された問題で、現場近くに工場を持つ「リケン柏崎事業所」は24日夜、市が開いた住民説明会  
の席上、2004年8月に同社で起きた工業用洗浄剤漏えい事故との因果関係を認め、謝罪した。[新  
潟日報 2006/01/25]（し）

---

**コンクリート塊焼却 無害化、市内で処分 神栖ヒ素** 情報掲載日 2006/02/05(日)

神栖市の有機ヒ素化合物による井戸水汚染問題で、環境省は二十八日までに、同市田畑の掘削現場  
で見つかったコンクリート塊や掘削土を、同市内のごみ処理場で焼却処分する方針を固めた。二月  
八日の総合調査検討会で決定する。同省は同日午後六時半から、同市溝口の中央公民館で住民説明  
会を開き、処理方法や今後の予定などについて市民に理解を求める。同市田畑の掘削現場で見つ  
かったコンクリート塊と周辺の汚染土壌など計約二千百トン処分する。焼却して無害化するとい  
う。[茨城新聞 2006/01/29]（し）

---

**弥彦村で基準超える有害物質** 情報掲載日 2006/02/05(日)

新潟県は25日、弥彦村美山の弥彦工業団地の地下水から、有機溶剤のトリクロロエチレンが1リッ  
トル当たり29ミリグラム検出されたと発表した。地下水の環境基準（1リットル当たり0・03ミ  
リグラム）の約966倍に当たる。弥彦村は周辺住民に井戸水を飲まないよう注意を呼び掛けてい  
る。[新潟日報 2006/01/25]（し）

---

**上越市ナフサ漏れで水質調査** 情報掲載日 2006/02/05(日)

上越市大潟区の帝石トッピングプラント頸城製油所の貯蔵タンクから、粗製ガソリンのナフサが漏  
れ出していたことを受け、県や同市は19日、周辺地域の地下水の水質調査に着手した。同製油所  
のある渋柿浜地区など半径1キロ以内では、住宅や事業所など38カ所で地下水を使用している。この  
うち、飲料用に使っているのは住宅1件という。[新潟日報 01月19日]（し）

---

**環境省 硝酸性窒素浄化技術募集** 情報掲載日 2006/01/27(金)

環境省は、「硝酸性窒素浄化技術開発普及等調査」として硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下

水汚染の浄化技術を公募している。公募要領などはホームページに掲載されており、公募期間は平成18年1月17日～2月17日まで。面的な広がりのある汚染を効果的に浄化する手法を確立し、普及することを目的に平成16年度から5年間の計画で実施している。[建設工業新聞 平成18年1月27日](五)

---

#### 地下水位で大地震予知 情報掲載日 2006/01/19(木)

日本経済新聞によると、産業技術総合研究所は東海地震や東南海地震、南海地震の発生の予兆をとらえるため、地下水位の常時監視網をつくる。海溝型（プレート境界型）地震が発生した時には、地盤の隆起や体積の膨張によって地下水位が下がることが確認されており、地震の前触れを探る手掛かりにする。地下水位の常時監視網は、東南海地震や南海地震の被害が予想される愛知県南部から四国南部にわたって新たに約二十本の観測井戸を設けるとのこと。（2006年1月16日 日本経済新聞）（みか）

---

#### 厳寒に水しぶき 龍泉洞みずまつり 情報掲載日 2006/01/14(土)

岩泉町の第19回龍泉洞みずまつりが8日、龍泉洞などで開かれ、下帯姿の男性による水払いや龍（りゅう）舞（まい）行列で活気に包まれた。水払いには、龍泉洞からくみ上げた水を同町中心部まで届ける岩泉御水（ぎょすい）搬送隊の9人が参加。龍泉洞入り口そばの龍泉の池を囲んだ男衆は厳寒の中、掛け声とともに勢いよく冷水をかぶり身を清めた。龍舞行列には、今年15歳となる岩泉中の生徒63人が参加。立志式の後、全長35メートルの龍を担ぎ町内を練り歩いた。[岩手日報 2006/01/09]（し）

---

#### 米沢で氷点下17.3度!! 散水式の消雪水からは湯気 情報掲載日 2006/01/14(土)

10日朝の山形県内は、晴れて地表の熱が上空に奪われる放射冷却現象によって、米沢で最低気温が氷点下17.3度になったのをはじめ、山形で同8.7度、尾花沢同10.2度を記録するなど、いずれも今シーズン一番の厳しい冷え込みとなった。米沢市内は、路面が凍結し、給油所などでは、地下水を使った散水式の消雪水から湯気が立ち上り、冷え込みの厳しさを物語っていた。[山形日報 2006/01/10]（し）

---

#### 上越地域に地盤沈下警報発令 情報掲載日 2006/01/14(土)

新潟県は6日、豪雪の影響で消雪用の地下水くみ上げ量が増加し、地盤沈下の恐れがあるとして上越市旧高田地区を対象に地盤沈下警報を発令した。県環境対策課によると、同市栄町と同市本城町の6日午前10時現在の地下水位が、昨年12月1日と比べてそれぞれ約8メートル低下し、警報基

準に達したという。[新潟日報 01月06日 (金)] (し)

---

「秋吉台地下水系」の保全と観光、新たな模索 情報掲載日 2006/01/06(金)

山口県秋芳町、美東町にある国内最大級の秋吉台地下水系が、ラムサール条約登録を受け、その水環境の保全と利用に注目が集まっている。秋吉台地下水系は、2005年11月に地下水系としては国内で初めて、国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録された。

記事によると、条約登録を機に地元住民たちも秋吉台地下水系の魅力を見つめ直しており、「草原が風になびく秋吉台の環境を守るのが、地下水系や洞窟の保全につながる」とは美東町の民宿経営者の声。今までテーマパーク的な集客が目立ってきた秋吉台だが、2006年はその保全と観光の新たな方向を模索する最初の年となるとのこと。(2006年1月5日 中国新聞) (みか)

---